

介護の基本Ⅲ

担当教員 川俣 幹雄、小阪 勝己

配当年次 1年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

学修者は、介護職の立場からリハビリテーションの理念について説明できるようになる。また、障害とは何か、障害を持った方の家族支援の在り方や介護における多職種連携の在り方について説明できるようになる。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	リハビリテーションとは？（川俣:理学療法士として病院勤務）
2	障害の理解（川俣:理学療法士として病院勤務）
3	ICFの概念（川俣:理学療法士として病院勤務）
4	介護を必要とする人の理解（小阪）
5	介護を必要とする人の理解2（小阪）
6	尊厳を考える～羞恥心を守る介護の重要性を通して～（小阪）
7	家族支援について（介護負担、虐待発生のメカニズム）（小阪）
8	家族支援について（家族支援の実際と精神的ケアの重要性）（小阪）
9	生活環境の重要性（小阪）
10	優れた介護を提供できる組織づくり（小阪）
11	安全、リスクマネジメントの重要性と実際（小阪）
12	多職種連携の重要性（小阪）
13	アドバンスケアプランニングの重要性（小阪）
14	人生の最終段階における介護福祉士の役割（小阪）
15	これからの介護福祉士に求められるものとは何か（小阪）

【履修上の注意事項】

各回の授業テーマと関連する教科書の該当箇所の予習・復習を徹底すること（120分）。
演習問題は2回以上解いてください。

【評価方法】

期末試験50%、レポート等の日常的学習成果50%で評価する。
レポートはコメントを通じてフィードバックする。

【テキスト】

介護福祉士養成講座編集委員会『介護の基本Ⅰ』『介護の基本Ⅱ』中央法規（最新版）

【参考文献】

適宜講義中に紹介する。